

CR-A

7A

7B

7C

(1) 測定結果 (2) 計算式フロー

log shear rate $\dot{\gamma}_T \text{ sec}^{-1}$

3 結 果

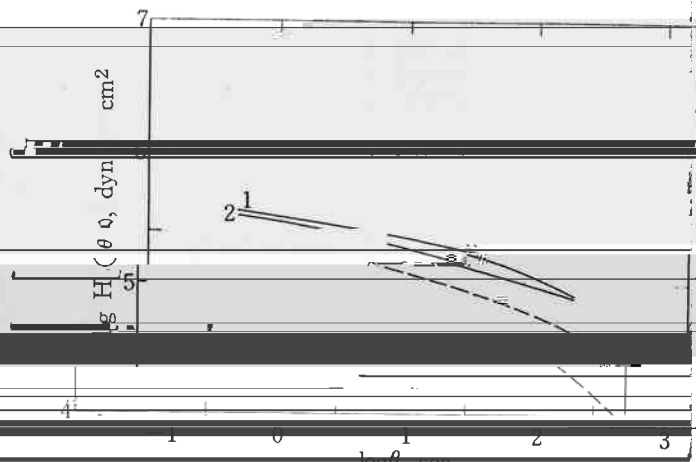


Fig. 1. Relationship between surface tension and contact angle of polychloroprene. The surface tension was measured by the capillary method. The contact angle was measured by the goniometer method. The surface tension of polychloroprene is about 30-40 dyn/cm. The contact angle of polychloroprene is about 60-70 degrees.

プレンの粘度のずれ速度係数 η と η_0 との比 η/η_0 は、 $\eta/\eta_0 = 1 - k_1 \cdot \dot{\gamma}$ と仮定して、 η/η_0 の値を求めた。ここで k_1 は速度依存性係数である。この結果、 η/η_0 の値は、 $\dot{\gamma}$ の増加とともに減少する傾向を示した。

また、 η/η_0 の値は、 $\dot{\gamma}$ の増加とともに減少する傾向を示した。これは、ポリクロロプレンの流動性が、 $\dot{\gamma}$ の増加とともに増加することを示している。この結果、ポリクロロプレンの流動性は、 $\dot{\gamma}$ の増加とともに増加する傾向を示した。

未加硫ゴム α の加工操作においては、機械の種類や操作条件に多少の違いがあるとしても、その流動性は、 $\dot{\gamma}$ の増加とともに増加する傾向を示した。これは、未加硫ゴム α の流動性は、 $\dot{\gamma}$ の増加とともに増加する傾向を示していることを示している。